

2025年3月8日策定  
資生堂美容技術専門学校

資生堂美容技術専門学校 中期計画・目標

## 中期計画

### 1. 学校の概要

資生堂美容技術専門学校は、1959年4月13日に資生堂美容学校として開校した。当時、掲げられた教育信条は「知識・技術・人格の形成を通して生活文化の担い手となる美容界のリーダーを育てる」という高遠なものであった。“真・善・美”の心を備え、お客さまに豊かな生活文化を提案することを使命に、人格の涵養と教養を会得させることを目指していた。その後、1999年に各種学校から専修学校へ改組、認定され現在の校名に変更された66年の歴史がある美容専門学校（専修学校専門課程）である。学科は衛生分野の美容専門課程に美容師科とビューティーコンサルタント科を設置している。美容師科は美容師免許の取得を目指す美容師養成教育をしており2022年に職業実践専門課程の認定を受けている。ビューティーコンサルタント科はメイクアップ、エステ、ネイル等の資格取得に直結する美容教育をしており2023年に職業実践専門課程の認定を受けている。他に附帯教育の美容師通信科があり美容師養成教育をしている。

### 2. 教育理念

教育理念は「『美しく生きる』をかなえよう。」で、“真・善・美”の心を備え、人々の“美しく生きる”という願いをかなえることができる人、そしてみずからも“美しく生きる”ことを実践できる美意識と人間的な魅力にあふれた人の育成をしている。

注) 真とは、物事の本質を見極める心。善とは、正しく生きる心。美とは、人を優しく、美しく、豊かにする心。

### 3. 教育方針

学生と教職員は、教育理念に基づき心をひとつにして、相互に成長と自己実現を目指す。そのために、教職員は自らが手本となり日々の指導に努力を惜しまず、学生は自主性をもって積極的に授業に取り組むことで、教育方針の達成を目指す。

- (1) 美容に関する高度な技術と専門知識を身につけ、実践の場で活かすことのできる人材を育成します。
- (2) お客さまに美しくなっていただくことに誠実に取り組み、お客さまの喜びを自分の喜びとすることのできる、“おもてなしの心”を持った人材を育成します。
- (3) 自らが美の実践者であることに誇りを持ち、美に対する豊かな創造力と探究心を持ち続けることのできる人材を育成します。

#### 4. 中期目標

当校の使命は、資生堂の資産を基盤とする総合美容教育機関として「長い間美容業界で活躍できるプロフェッショナル人材を育成する」ことである。中期目標は、Z 世代やアルファ世代等の新世代の特性に合わせた多様な教育により、在学中から卒業後の初期キャリアにおいて活躍できる人材の育成とする。

目標の実現に向けて、従来の取組みである学生募集、教育、就職支援、新規事業の 4 本柱は、教育を中心に有機的な連携により良循環させる。

学生募集は、アドミッションポリシーに定めた「美容に対する学習意欲が高い人」、「思いやりの心を持った人」に入学いただけるよう活動する。具体的には、オープンキャンパス、高校訪問、ガイダンス、SNS 運営、個別相談等により当校の魅力を伝える。加えて、入学選抜では実施時期や選抜方法等を工夫・改善することで多様な学生を確保し有望な人材の育成につなげる。

柱の中心となる教育は、新世代をはじめ、当校で学ぶ多様な学生の個性や可能性を伸ばす「令和のシセビ型教育」を構築する。令和のシセビ型教育とは、社会で多様な人々と協働するのに求められる「人間力」を形成するとともに、Creation と Output をテーマに据え自分で考え新たな作品を創る力や自分の意思を伝え行動する力を身に付けることを目標とする教育活動である。これらの取組みを通じて以下の3つを確立する。

- (1) 資生堂のメソッド・ノウハウによるヘア&メイクアップ力を磨く教育
- (2) 初期キャリアに必要な人間力の形成
- (3) 多様な個性（属性）に合った適切な指導

上述を確立するために教員は、FD（ファカルティ・ディベロップメント）により、授業内容・方法を改善し資質向上させるための取組みを行う。具体的には、授業改善するための研修や専攻分野の研究を行い、教育の資質向上を図る。また、SD（スタッフ・ディベロップメント）により、教職員は職務に必要な知識および技能に関連する研修等の機会を設け、能力・資質の向上を図る。

就職支援は、SNC（資生堂学園ネットワーク・コミュニケーションズ）賛助会員と連携した就職ガイダンスを継続開催する。また、1年前期からキャリアについて学ぶ科目で一人ひとりが将来について考え、行動することを身に付けさせる。さらに採用試験を想定した模擬面接の練習や履歴書、自己 PR の書き方や方法等についても学修して、就職率 100%の継続を目指す。

新規事業は、主に公開講座とサロン運営を行う。公開講座では、一般社団法人ジャパン・ビューティメソッド協会のメイクアップ検定を取得するための講座・検定を運営して、メイクアップ関係の仕事に従事する人や目指す学生等の支援をする。サロン運営は、附設の美容所（studio Masa）を週 4 日営業して、地域社会に根差した経営を行う。また、サロン運営に関わる教員は、接客することで現場感覚を活かした実務家教員として教育を行う。

### 中期目標の期間

中期目標の期間は、2025（令和 7）年 4 月 1 日から 2030（令和 12）年 3 月 31 日までの 5 年間とする。

### 育成する人材像

育成する人材像は、①ヘアメイクで活躍できるアーティスト、②新しい美容のプロデューサー、③信頼できるスペシャリストの 3 タイプである。卒業して数年間の初期キャリアでは、着実に自己成長をし続けながら社会人としての基盤をつくり、お客さまや先輩、同僚から信頼される人になるよう育成する。

### 目標達成するための教育

近年、多様な学生が入学し教育を行っている。学生は、モチベーションが高く挑戦意欲の高い学生群、夢に向かって着実に成長する学生群、夢の実現には支援を必要とする学生群に大別することができる。この区分に適した指導体制や教育方法を採用することで学生の成長を支援する。

モチベーションが高く挑戦意欲の高い学生群には、課外活動である学生会、エキスパートチーム、クリエイションチーム、チーム OC、社会貢献活動等日ごろの学びで身に付けたことをアウトプットする場に積極参加して美容技術と人間力を養う。

夢に向かって着実に成長する学生群には、教育課程を学修することは元より資格検定の取得や学校行事にも力を注ぎ、充実した学校生活を過ごすことで専門的能力や人間力を養う。支援を必要とする学生群には、ピアサポーター制度、アドバイザー制度、スクールカウンセラー、学校医、24 時間電話相談窓口等により相談先を複数設け学校生活を支援する。またサークル活動等は、クラス以外の仲間づくりの機会として拡大、認知されるよう支援する。

### 育成する能力

育成する汎用能力は、自己に対する「感情抑制力・自信創出力・行動持続力」、他者に対する「親和力・協働力・統率力」、直面する課題に対してが「課題発見力・計画立案力・実践力」等で、「社会人基礎力」とも呼ばれるものである。これらの能力を身に付けることで初期キャリアに必要な人間力を形成する。

専門能力については、社会・産業のニーズに即応しつつ学科の目的に適合した実践的な職業教育を行うことで、長い間、美容業に従事するための基礎となる技術と知識ならびに資生堂のメソッド・ノウハウを身に付ける。

以上